７６７８円の冒険?

ＪＡ１ＲＩＺ

ある移動運用の折、木立の中で 1200MHz コーリニアANTを設営していました。(これは、東京UHFコンテストに参加した時のことです。)

木立の中なので、愛用の6mポールではラジアル部が樹木に接触し、その上、周囲には更に2～3m高い木が茂っていました。さすがにこのあたりの周波数になると、見るからにそれらに影響を受けて「飛ばなさそう」なのです。(+_+)

これらの樹木より上へ ANT を上げなければ…、と思いつつ、コンテストに参加。コンテスト時間中しっかり頑張った、つもり。結果は、2020 年:24QSO、2021 年:30QSO。少しは伸びた…。

しかし、思ったより伸びなかった。そして、飛ばなかった。これ以上聞こえてこない…という状態だった。

もう少し飛ぶ条件は？ それには、電波伝搬上のロケーションをもう少し改善しなければならない。それにはどうするか。場所を変えてもっとロケの FB な場所に変える？……それでは面白くないのです。

今の、この場所で飛び条件をUPするには？ それには周囲の樹木より ANT を高く上げることだ、という至極当たり前の結論になる。ウーン、もっと長いポールを使って高く上げる。…それでは HAM として芸がなさすぎる。今あるものを有効に使って高く上げられないか？ 手持ちの機材で高くできないか？ そうだ、メインポールとして今あるタイヤベースで建てる 6mポールに加え、徒歩移動でも使える 4.5m ポールをジョイントして上げればアバウト 10m高になる！ ジョイントは結束バンド＋針金で何とか固定できる。

ANT を取付けてから 4.5mポールを伸ばした状態でタイヤベースに差込むには少々無理がある。全長は 6m程になっていてフラフラと安定しない。…もっと安定した状態で設営するには…。4.5mポールを縮めた状態でタイヤベースに差込めれば FB だ…それから、ポールを伸ばすことができれば。それには脚立のようなものに乗って操作すれば良いのだ、という結論に至る。

さて、「脚立のようなもの」として、安全性を考えるとやはり「脚立」方法がイイという事になりました。現状での適当な寸法を検討した結果、1.5m級の脚立なら可能な高さが得られそうだ、となりました。

脚立なら無線以外のほかの用途にも役立つ。小遣いを投資しよう…。

涙を呑んで金『7678 円』也を奮発投資しょう！と決定。

更に、簡便に 4.5mポールと 6mポールをジョイントできる治具を考えた方が安上がりだったかも…ですが、又、無い頭を絞ってみようと思います。

どんな結果になりましょうか、このポールスタイルで次の多摩川コンテストやってみましょう。

（終）